

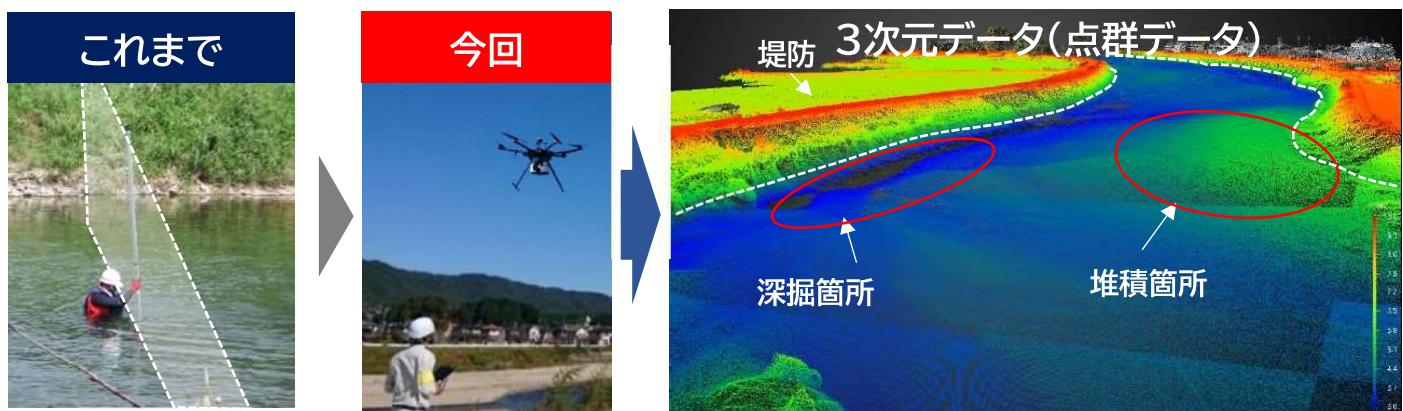


■概要

- ・デジタル技術を活用したインフラメンテナンスの高度化・効率化を図るため、ドローン等により取得した3次元の地形データを比較検証するなど、新たな変状監視手法を検討

■令和3年度の成果

- ・これまでと比べ短時間で地形データが取得可能
- ・立体的に可視化することが可能であるなど、今後の監視に活用できることを確認



■スケジュール

令和3年度

- ・衛星・ドローン・航空機の各データの比較検証
- ・島田川の変状監視手法を検討

令和4年度

- ・島田川の地形データを取得
- ・他の流域面積の大きい河川にも対象を拡大

令和5年度以降

- ・新たな変状監視手法に基づき、他の流域面積の大きい河川の地形データを取得

現場見学会の公開内容

ドローンによる測量 (基礎データ取得)



- ・現況河川の3次元データを取得(基礎データ)(今回)
- ・災害発生時等、必要に応じてデータを再取得し比較

- ・迅速かつ安全なデータ取得が可能
- ・土砂堆積量、洗堀量の把握が可能

早期
対応